

太子町子ども・子育て会議（平成 29 年度第 1 回）会議録

1. 開催日時 平成 29 年 5 月 24 日（水） 10 時 00 分～11 時 33 分
2. 開催場所 太子町役場 災害対策室
3. 審議事項 ①子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について
②教育・保育の提供体制の確保状況について
4. 出席委員 都築祐二委員 松浦知子委員 嘉ノ海令子委員
西谷由加利委員 武田英樹委員 徳山玲菜委員
岡村珠美委員
5. 欠席委員 徳富伸吾委員 巖 和美委員
6. 事務局 藤野和徳社会福祉課長 蛭井のり子係長
7. 傍聴者 なし
8. 審議経過及び結果 以下のとおり

【審議経過】

1. 開会
2. 部長あいさつ
3. 委員委嘱
4. 委員の紹介
5. 会長及び副会長の選出
会長に武田委員、副会長に嘉ノ海委員を選出

会議録署名委員に都築委員と松浦委員を指名。
6. 議題

①子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について
〈事務局より説明〉

②教育・保育の提供体制の確保状況について
〈事務局より説明〉

7. その他

①平成 29 年度の幼児教育の段階的無償化に向けた取り組みについて
〈事務局より説明〉

8 閉会

会議の要点内容 以下のとおり

6. 議題

①子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

武田会長 地域子育て支援拠点事業について、28 年度の実績が 27 年度と比較し、ぐんと落ちているように思うが、要因はあるのか。

事務局 子育て学習センターのびすくは平成 27 年 11 月に旧太田東幼稚園から太田東地区農村交流センターに移転した。それにより、外遊びが難しくなったこと、駐車場がかなり制限されるようになったことなどから、募集人数も減らしている。あと、旧幼稚園であったので、園庭もあり、一般開放ができていたが、それも以前のようにはできなくなったこと、認定こども園の新設により、こども園に入園する方も増えたことが要因ではないかと考える。

西谷委員 農村交流センターからどこかへ移転する計画は。

事務局 現在、新たな施設を検討できていない状況である。しかし、現状を見ると、このまま事業を進めるのはなかなか難しい部分もある。地理的な問題もあるかと思うが、今後、子ども子育ての拠点となるものを町の計画に盛り込みたいと考えている。

武田会長 ニーズが減っているのであればいいが、ハード面等の問題でニーズがあるなら、引き続き検討願う。

都築委員 養育支援訪問事業は、平成 27 年度実績 73 人、平成 28 年度実績 87 人だが、量の見込み・確保の内容が 15 人となっている。これはきちんと対応できているのか。

今後、量の見込み・確保の内容がそのまま 15 人となっているが、どうなっていくのか。

事務局 計画時点では、家庭児童相談員が対応する人数を 15 人としているが、事業内容としては、保健師という言葉も入っているので、保健師が訪問する若年・シングル・精神・障害のある妊婦や産婦、エジンバラ数値の高い方、低体重児、疾患を抱えた児童や双子の訪問件数を実績としてあげている。今年度、計画の見直しがあるので、実績に基づき、数値は見直していきたいと考えている。

②教育・保育の提供体制の確保状況について

都築委員 待機児童はどのラインで待機児童としているのか。

事務局 申込者から利用者の数を引いた数を待機児童の数としてあげている。28 年度は、申込者数が 619 人、利用者数が 561 人で 58 人、29 年度は、申込者数が 702 人、利用者数が 659 人で、43 人となっている。

武田会長 この数字は一時預かりも含まれているのか。

事務局 (閉会後回答) 含まれていない。

嘉ノ海委員 今年度の待機児童 43 名の年齢別の内訳は。職場復帰されるお母さんは乳児の希望がたくさんあり、なかなか現在の受入以上に受け入れることが難しくお断りしたケースもある。お母さん方が、待機することによって、復帰できないとか、なかなか思うように働けない状況は低年齢ほど、何か難しさがあるのではないかと思ったので、年齢別の内訳を聞いた。

事務局 (閉会後回答) 0 歳児 3 名、1 歳児 10 名、2 歳児 17 名、3 歳児 12 名、4 歳児 1 名。

都築委員 待機児童は 28 年度より 15 名減っているが、利用定員は今年度、2 号が 46 名増えて、3 号が 49 名増えている。なぜ待機児童が 43 名にとどまってしまうのか。どうゆう理由があるのか。

事務局 管外委託で断られることも増えてきた。姫路市についても、28 年度、待機児童が 46 名であったのが、29 年度は 120 名に増えているようである。姫路市民でも、なかなか受け入れるのが難しい状況の中で、市外である太子町からの受け入れというのはさらに難しい状態になってきているのではないかと考えている。

武田会長 そうすると、まだまだこちらで把握できていないような潜在的な待機児童の御家庭が今後も出てくることが想定されるということでしょうか。

事務局 そのように考える。

この議事録が真正であることをここに署名する。

平成 29 年 11 月 27 日

署名委員

都築 祐二

署名委員

松浦 知子